



学校だより

令和2年11月30日

ひびき 12月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

師走を迎えて

校長 大塩 啓介

いよいよ師走を迎えます。今年を振り返りますと、新型コロナウイルスに始まり、終息しないまま年末を迎えます。この間、学校の教育活動は大きな制限を余儀なくされ、社会生活も完全には戻っていません。ご家庭におかれましても、数々のご不便やご苦勞をなさっているのではと思います。

現在、第3波と思われる感染者の増加が続いています。11月30日（月）の朝の放送で、感染拡大防止の話をしました。児童の様子を見ていると、普段の姿に戻りつつあるとはいえ、新型コロナウイルス感染拡大のための取り組みに慣れが出てきてしまい、感染への危機感が薄れているように感じています。児童には改めて感染防止のための取り組みを確認いたしました。

ひとたび学校内でクラスターが発生すれば、授業ができない状況になってしまいます。そのため、教職員間での会合については極力控え、クラスターを発生させないように努めています。報道によれば現在の感染者の約半数が家庭内感染とのこと。ご家庭内での感染がないとは言い切れない現在の状況になってきています。

こうした状況を踏まえ、ご家庭におかれましても感染防止のためのお取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。ニュースを見ると、ワクチンの開発も進んでいると聞きます。来年、一日も早く、これまでの日常生活が取り戻せることを願っています。